

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム さくら2号館

作成日: 令和4年 10月 19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		①新人研修では身体拘束に係る内容については職員からレポートを提出してもらう。②身体拘束適正化検討委員会の内容は現場での事例検討をおこなう	新人研修後レポートを提出してもらい改めて内容を確認する機会を設ける。 身体拘束適正委員会では現在施設での事例を挙げて話し合いを持ち記録していく。	新人研修の資料を整え綿密に行い理解したうえでレポートを提出。レポートの内容によっては再度研修の機会を設ける。 身体拘束適正委員会では委員より事前に意見を出してもらい委員会で話し合鶴と共にさらなる身体拘束への理解を確認する。	12ヶ月
2		①個人情報に係る書面は鍵付きのものに保管する。②不適切ケアまたは接遇について定期で見直しを図るためのチェックシートを作成する。	個人情報に関わる資料などは鍵付きのロッカーなどで保管する。 不適切な事案が無いようチェックリストを作成して行っていく。	個人情報書類などを保管する鍵の付いたロッカーや入れ物を用意する。 不適切ケアのチェックリストを作成してスタッフ会議などで確認し予防につなげる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。